

はなのことば



花言葉に代表されるように、花はじつに多くのことばをわたしたちに与えています。それらは時に勇気づけたり、また戒めたりと、わたしたちの生活の営みに深く関わりながら、記憶の一片として、まさしく思い出の「頁」として「花」を添えてきたのです。

申楽（さるがく）を芸術の域にまで高めた観阿弥（かんあみ）は、鋭い観察眼による人間考察や芸の本質を、息子の世阿弥（ぜあみ）に門外不出の「花伝書」として、口述で授けています。

「花と、おもしろきと、めづらしきと、これ三つは同じ心なり。いづれの花か散らで残るべき。散るゆゑによりて、咲くころあればめづらしきなり」

永久不変でないゆゑに、花の咲く面白さを「めづらしき」と言い得たことばは、花を共に、そして芸術にたとえた名言として、また中世の世から現代に至るまで色あせないすぐれた芸術論として、わが国のみならず世界においても高い評価を受けています。

「はなのことば」を知るために、わたしたちはまず花と出会わなくてはなりません。

日本の新進作家 vol.3 新花論

On Flowering Images; Contemporary Japanese Photography

赤崎みま Mima Akasaki
銅金裕司 Yuji Dogane
檀田珠実 Tamami Hitsuda
鬼頭健吾 Kengo Kito

2004年12月25日[土] — 2005年2月6日[日] 東京都写真美術館3F展示室

10:00AM~6:00PM [木・金は8:00PMまで(1月2、3、4日は11:00AM~6:00PM)] / 入館は閉館の30分前まで

毎週月曜日休館 [ただし、12月29日~1月1日は休館、1月10日(月・祝)は開館、1月11日(火)は休館]

観覧料：一般300(240)円 学生250(200)円 中高生・65歳以上150(120)円

*第3水曜日は65歳以上無料 *小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者1名は無料

*()内は20名以上の団体料金、東京都写真美術館友会の会員は無料

東京都写真美術館

主催=東京都・東京都写真美術館 協力=キャノン(株)・河野メリクロン・日本医化器械製作所・パナソニックSSマーケティング・恵比寿ガーデンプレイス

日本の新進作家 vol.3 新花論 しんかろん On Flowering Images; Contemporary Japanese Photography

Ever since its opening, the Tokyo Metropolitan Museum of Photography has considered one of its primary roles to be: "to support the creative spirit that challenges the possibilities of photographic art expression, to discover artists with potential for the future and to provide a place in which to develop new creative activities."

Since 2002 we have decided to take this one step further and hold regular exhibitions featuring the work of up-and-coming Japanese artists; as "On Flowering Images; Contemporary Japanese Photography vol. 3." for 2004.

Please enjoy our experimental exhibition through a newly taste of Photography and Art, a multipul presentation by 4 artists; Mima Akasaki, Yuji Dogane, Tamami Hitsuda and Kengo Kito.



赤崎みま Mima Akasaki

1965年、兵庫県神戸市生まれ。武蔵野美術大学工芸工業デザイン科卒業。
1989年の個展以来、主に国内のグループ展に数多く参加。
モチーフを変えながらも、「光」をテーマにした写真作品を次々と発表し、鮮やかな発色とその色彩効果を求めて、独自のフレーミング・メソッドに挑む。



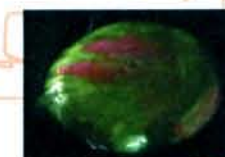
銅金裕司 Yuji Dogane

1957年、兵庫県神戸市生まれ。千葉大学大学院博士課程を修了し、
学術博士(Ph.D.植物生理学)および工学修士(海洋学)を取得。1991年より、
植物と環境の生理をテーマに、作家活動を開始。
展覧会をはじめ、各種ワークショップも開催。



檀田珠実 Tamami Hitsuda

1958年、香川県高松市生まれ。愛知県立芸術大学大学院修了後、渡英。
英国王立芸術大学大学院で美術を修めMA取得し帰国。
1983年の個展以来、国内外の展覧会で幻想的な絵画作品を中心に展開。
近年は、デジタル技術を応用した絵画と写真のリミックス作品を精力的に発表している。



鬼頭健吾 Kengo Kito

1977年、愛知県名古屋市生まれ。名古屋芸術大学絵画科洋画コース卒業後、
京都市立芸術大学大学院美術研究科で油画を修める。作家活動とあわせて、
1999-2001年まで自主運営スペースdotの設立・運営に携わり、
常に「動き」のあるユニークなインスタレーションを発表し続けている。

※写真はすべて参考作品

出展作家によるセミナーワークショップのお知らせ

2005年1月29日(土) 鬼頭健吾/銅金裕司
2005年1月30日(日) 赤崎みま/檀田珠実

写真が満開! フォト・ガーデン

会期中、写真の花咲くフォト・ガーデンがオープンします。
「あなただけの花」の写真をご持参ください。

詳細は<http://syabi.com>

会場 東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3

恵比寿ガーデンプレイス内 電話: 03 (3280) 0099

交通機関 地下鉄日比谷線恵比寿駅より徒歩10分・JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分

当館には専用の駐車場がありません。お車でのご来館はご遠慮ください。

